

CP1
環境との調和を念頭に、地球規模の金属、非金属資源、石油、天然ガス資源に関わる資源分野の基礎から応用まで幅広い高度な専門知識を身に着ける能力を養成する。

CP2
各専門分野の研究を通じた教育により、研究の推進能力に加え、高い倫理性を備え、自ら課題解決に取り組める能力を養成する。

CP3
講義、演習、論文発表や口頭発表などを通じて、資源学分野におけるグローバルリーダーとして活躍できるコミュニケーション能力と英語力を養成する。

1年次

共通科目	研究倫理	資源経済学特論	グローバル資源学特論 I	グローバル資源学特論 II
	資源学実践演習	地域文化比較研究	国際情勢分析論	グローバルコミュニケーション
	開発と資源ガバナンス	契約と鉱業法・石油法	資源学サーキット演習	インターンシップ
	フィールドワーク			



2年次



- DP1**
エネルギー資源や金属資源などの資源形成過程の解明や探査、開発における課題解決のため、資源技術者・研究者としての知識・技術を身につけ、それらを応用できる能力
- DP2**
野外での地質調査や実験室での分析を通じて、資源の形成過程と、それらをもたらし地史解明からの資源分布予測など、地球科学的知識・技術を身につけ、それらを応用できる能力
- DP3**
エネルギー資源や金属資源などの地球資源の鉱量評価、開発手法、環境保全などに関する様々な課題解決のため、技術者・研究者としての工学的知識・技術を身につけ、それらを応用できる能力
- DP4**
該当する専攻の専門技術に関する高度な知識とそれらを問題解決に応用できる能力
- DP5**
継続的に学習でき、業務・研究を遂行できる能力
- DP6**
技術者・研究者として倫理規範を守り、業務・研究を遂行する能力
- DP7**
技術者・研究者として業務・研究を遂行するためのコミュニケーション能力
- DP8**
業務等における協働力やマネジメント能力
- DP9**
技術者・研究者として、社会の課題を抽出し、具現化する能力